

5 地方債

(1) 一般会計の地方債

一般会計の地方債現在高は、合併後の平成16年度から平成23年度までに合併特例債を102億円、臨時財政対策債を78億円借り入れたことにより、平成24年度末現在高見込額は202億円となります。

表23のとおり地方債現在高見込額は、平成24年度末の202億円から11億円増加して、平成25年度末には213億円となる見込みです。市民1人あたりの残高にすると、459,329円となります。(人口は、H25.1.1現在人口46,442人)

合併特例債は、元利償還金の70%が普通交付税措置される制度として、他の地方債に比べ有利な起債です。

今年度は、救助工作車・高規格救急車購入負担金やヘリポート整備事業、コミュニティFM緊急放送システムの防災施設整備費とあじさいクリーンセンター整備や大安中学校校舎改築事業等の新市建設計画に基づくまちづくり推進のための事業に対して28億8千万円の借り入れを行います。

財源不足を補う臨時財政対策債は、市税収入等の状況や財政見通しを考慮しながら借り入れを行います。

東日本大震災の影響で合併特例債の活用期間が平成26年度から平成30年度まで5年間延長されたことにより、合併特例債の借入残高は今後も増加していくことが予想されますが、中長期的な財政見通しの下で償還方法等も考慮していきます。平成25年度は、平成24年度借り入れ分の起債を2年間で短期償還し、早期に財源を確保するとともに、将来負担の軽減を行っていきます。

一般会計地方債現在高の推移は、図38をご覧ください。

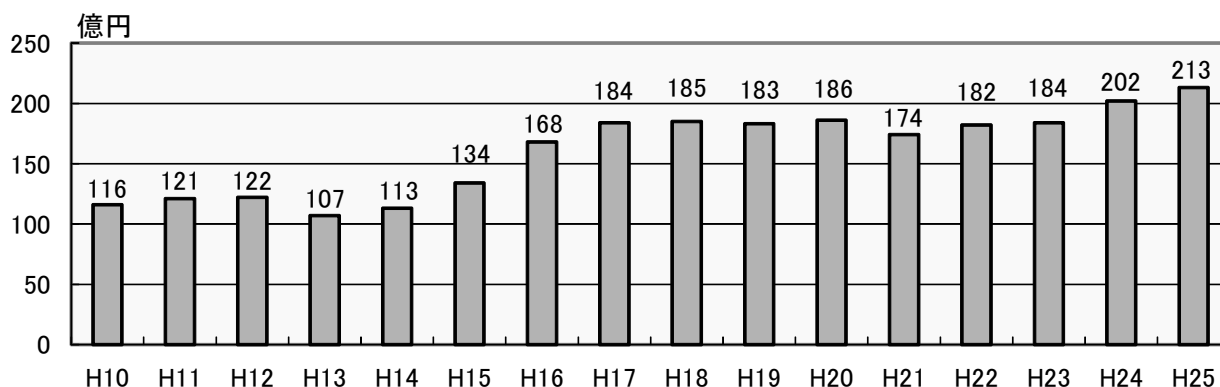
表23 一般会計地方債の状況

(単位：千円)

区分	平成24年度末 現在高見込額	平成25年度中増減見込		平成25年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
1 普通債	9,583,214	2,879,100	2,369,601	10,092,713
うち合併特例債	6,744,137	2,879,100	1,790,496	7,832,741
2 災害復旧債	115,780	3,200	16,096	102,884
3 その他	10,536,389	1,180,000	579,843	11,136,546
合計	20,235,383	4,062,300	2,965,540	21,332,143

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図38 一般会計地方債現在高の推移



注) 平成23年度までは実績、平成24・25年度は決算見込みです。

(2) 特別会計の地方債

特別会計の地方債現在高は、表24のとおり平成25年度末で、農業公園事業が1億円、農業集落排水事業が14億円、下水道事業が119億円となります。市民1人あたりの残高にすると、288,102円となります。(人口は、H25.1.1現在人口46,442人)

農業公園事業は、平成24年度から平成26年度までの3か年、県辺地総合整備計画による事業によって2億8千万円の辺地対策事業債による借入れを予定しています。辺地対策事業債は起債充当率100%、元利償還金の80%が普通交付税措置される他の地方債に比べ有利な起債で、今年度については1億円の借入れを行います。

農業集落排水事業は、平成24年度策定した農業集落排水機能強化事業計画に基づき、国の支援を受けて行う機能強化対策事業に対して4千万円の借入れを行います。

下水道事業は、建設改良がほぼ完了に近づき借入額が減少しているため、借入現在高は徐々に減少していきます。今年度は国の支援を受けて行う災害用仮設マンホールトイレの設置事業や、県の北勢沿岸流域下水道事業に対する負担金に対して4千万円の借入れを行います。

特別会計地方債現在高の推移は、図39をご覧ください。

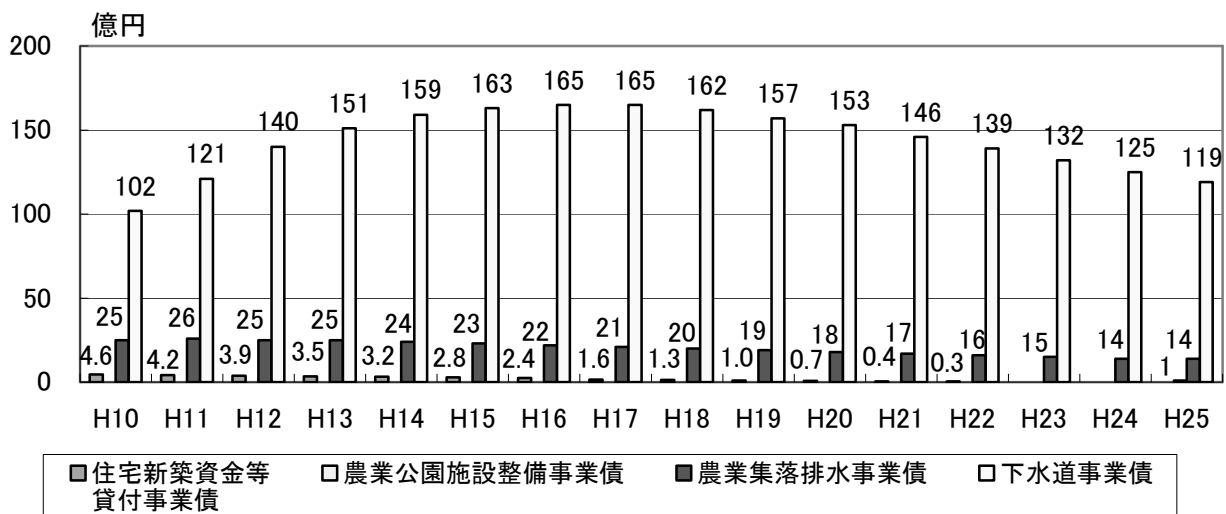
表24 特別会計地方債の状況

(単位：千円)

区分	平成24年度末 現在高見込額	平成25年度中増減見込		平成25年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
農業公園事業	3,800	102,800	1,900	104,700
農業集落排水事業	1,425,990	40,000	91,110	1,374,880
下水道事業	12,522,040	36,200	657,773	11,900,467
合計	13,951,830	179,000	750,783	13,380,047

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図39 特別会計地方債現在高の推移



注) 平成23年度までは実績、平成24・25年度は決算見込みです。

(3) 企業会計の地方債

企業会計の地方債現在高は、表 25 のとおり、平成 24 年度末の 43 億円から 1 億円減少して、平成 25 年度末で 42 億円となります。市民 1 人あたりの残高にすると、89,939 円となります。(人口は、H25. 1. 1 現在人口 46,442 人)

水道整備事業は、ほぼ完了に近づきましたので、借入は減少し借入現在高のピークは過ぎましたが、安心、快適な給水の確保をするうえでの水道水質管理の充実を図るため、簡易水道統合整備事業に対して 1 億 4 千万円の借り入れを行います。

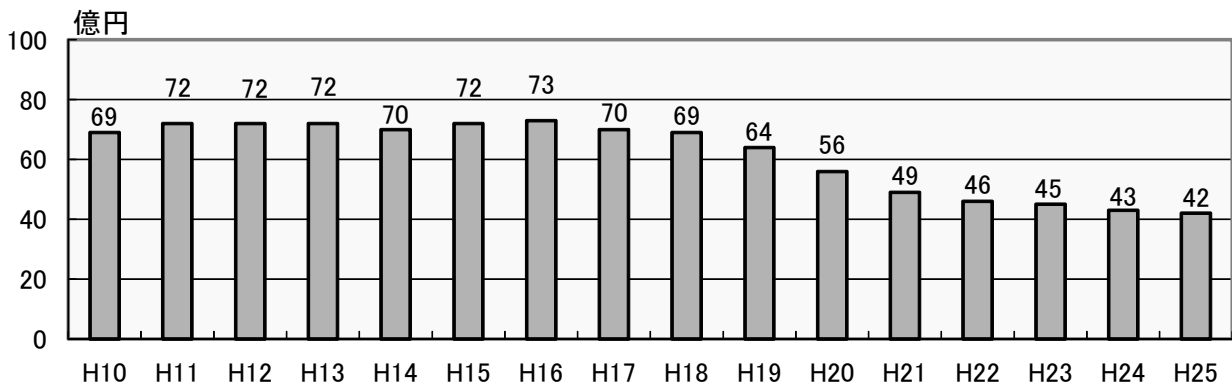
企業会計地方債現在高の推移は、図 40 をご覧ください。

表 25 企業会計地方債の状況

(単位：千円)

区 分	平成 2 4 年度末 現在高見込額	平成 2 5 年度中増減見込		平成 2 5 年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
水 道 事 業	4,315,072	135,000	273,118	4,176,954

図 40 企業会計地方債現在高の推移



注) 平成 23 年度までは実績、平成 24・25 年度は決算見込みです。

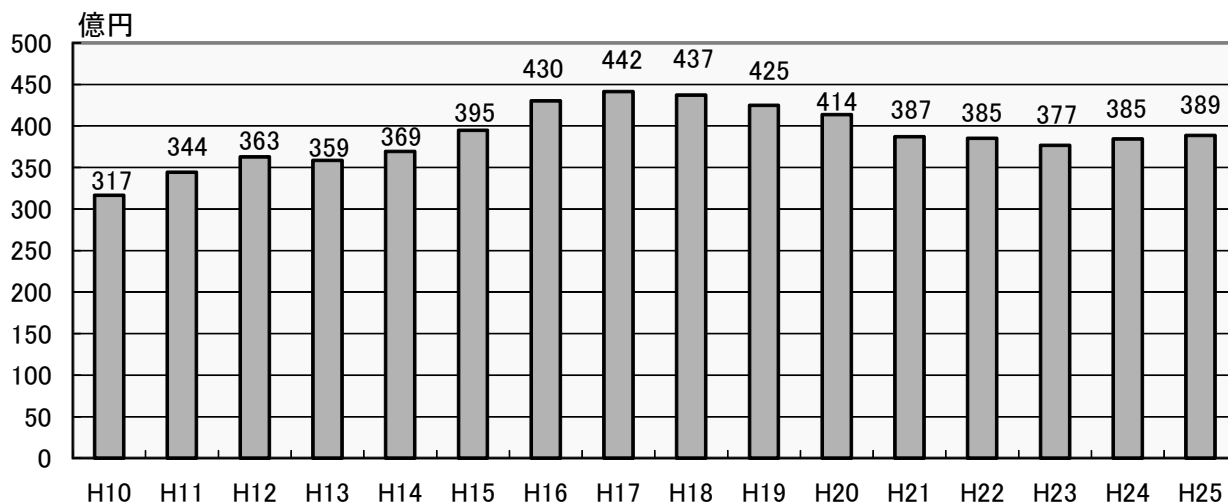
(4) 全会計の地方債

全会計の地方債現在高は、平成24年度末の385億円から4億円増加して、平成25年度末で389億円となります。市民1人当たりの残高にすると、837,370円となります。(人口は、H25.1.1現在人口46,442人)

なお、平成19年度から平成24年度までの6か年度で19億3千万円の補償金免除繰上償還を行い、6億円の利息を節減しました。

全会計地方債現在高の推移は、図41をご覧ください。

図41 全会計地方債現在高の推移



注) 平成23年度までは実績、平成24・25年度は決算見込みです。